

2017

Sunday Enjoy Kart Race

特別規則書

開催場所：井頭モーターパーク レーシングコース

主催：井頭モーターパーク (株)リンサン

2017 Sunday Enjoy Kart Race 開催概要

この規則書は今後変更される場合があります。その場合、当施設のホームページにUPしますのでご注意下さい。

○開催趣旨

スポーツ走行だけでは物足りない。本格的なレースに出るのはちょっと気が引ける。少しだけレース気分を味わいたい。などと思っている方も多いと思います。そんな皆様にモータースポーツの楽しさ、スリル、スピード感、レースの雰囲気を味わっていただくためと、日ごろから当サーキットをご利用の皆様方の交流と、親睦を深めることを目的に開催するお遊びレースです。

安全にカートに乗れる方であれば誰でも参加可能です。気軽にご参加下さい。

○主催、大会事務局

株式会社 リンサン

〒321-4415

栃木県真岡市下籠谷 468-2

TEL:0285-80-5440

FAX:0285-80-5441 HP <http://www.linson.co.jp/>

○開催場所・日程

開催場所： 井頭モーターパーク レーシングコース(620m)

開催日： 毎月 1 回、カート 1 日走行日の昼休み(12 時～13 時)に開催

※月ごとの開催日は、前月にホームページのレーシングコーススケジュールでお知らせします。

(当日のエントリーが規定台数以下の場合は不開催となります。)

○開催概要

排気量 4 ストローク 200 cc～270cc 及び 2 ストローク 100cc のカート車両を使用した周回(スプリント)レースを開催します。

○開催クラス

●4st スポーツカートクラス： 4 ストローク 200 cc～270cc(レンタルカート・マイカート混走)

●オープン 100 クラス： 2 ストローク 100cc(レンタルカート・マイカート混走)

※エンジン、シャシー、タイヤ等によりタイムハンディなどをつける場合があります。

○参加資格

●当日、マイカートでスポーツ走行、又は、レンタルカート走行(半日以上)を申し込まれた方

●過去にレース経験のある方(他サーキットを含む)

●SL又は、JAFカート会員の方

●特別に井頭モーターパークが参加を認めた方(年齢制限はなし)

※満 18 歳未満の方は、保護者の同伴・同意が必要となります。尚、無条件で出場できる最低年齢は小学 5 年生(11 歳)とします。

※自分の行動や他の選手、ピットクルー、応援団に対しても、紳士的な対応をとれる方が対象です。ルールを守らない、マナーが悪い等、他人に迷惑をかける方は参加をお断りする場合があります。

○参加料金

●マイカートでスポーツ走行申し込みの方 : 2,000 円

●マイカートでレースのみ参加の方 : 6,000 円

●レンタルカート走行(半日以上)申し込みの方 : 無料(レンタル走行代に含む)

●レンタルカートでレースのみ参加の方 : 4stクラス → 8,000 円, オープン 100 クラス → 10,000 円

○エントリー方法

レース開催日当日の 9 時～11 時の間にコントロールタワー1Fで受付いたします。

※レンタルカートを希望の場合は台数に限りがある為、事前予約も可能です。

※各クラスともに 3 台未満の場合は基本的に不成立(中止)となります、参加者の同意を得て、賞典無しの混走レースになる場合があります。

○装備

●ヘルメット(フルフェイス)

日本工業規格(JIS) T8133:2007

JIS-2 種

SNELL規格(SA2000 以降)

JAF 公認カートヘルメット など

●レーシングスーツ(カート用)

充分な強度を備えた皮製、又は、過去 10 年以内に JAF, FMK/FIA, CIA/FIA の公認を受けた実績を有するカート用スーツの使用が義務づけられます。

スーツの一部が破けていたり、擦り切れていたりした場合は不可とします。

レンタルスーツが数着ありますので、そちらもご利用下さい。但し、レンタルカート走行申し込み者優先とします。

●レーシンググローブ

軍手は認められません。皮やスエード等擦れなどに強い素材を推奨します。

●レーシングシューズ

足首まで覆うもので、ペダル操作に支障をきたさないものとします。

○レース内容

●4st スポーツカートクラス

タイムトライアル 5 分

決勝ヒート 15 周

●オープン 100 クラス

タイムトライアル 5 分

決勝ヒート 15 周

※各クラスともに3台未満場合は基本的に不成立(中止)となります、参加者の同意を得て、賞典無しの混走

レースになる場合があります。又、規定台数に達しないクラスの方がレースを希望する場合は、全競技者の

同意を得て 100cc と 4st カートの混走レース(ハンディ有り)になる場合があります。

○レースの流れ

ドライバーズミーティング(10 分程度)

↓

4st スポーツカートクラスとオープン 100 クラス混走で TT(5 分) 又は、個別に行う。

↓

4st スポーツカートクラス決勝ヒート 15 周(TT の結果によりグリッドスタート) 又は混走クラスで行う。

↓

オープン 100 クラス決勝ヒート 15 周(TT の結果によりローリングスタート) 又は混走クラスで行う。

↓

表彰式

○タイムトライアル

●各クラスともに 5 分間のタイムアタック時間を設け、ベストラップを採用します。

●タイムトライアルの成績は次の順序により決定されます。

ベストタイムによる順位(同タイムの場合はセカンドタイム→サードタイムの順で採用します)

○決勝ヒート

●周回数は各クラスともに 15 周とします。

○スタート方式

●4st スポーツカートクラス(スタンディングスタート)

1) スタートは信号機によるスタンディングスタートとします。信号機を使用しない場合は、日章旗で合図します。

2) 参加者はコース上スタートグリッドに手押しで車両を移動して下さい。

3) 全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、緑旗により 1 周のフォーメーションラップを行います。

4) フォーメーションラップを行うことの出来なかった車両については、ピットスタートとなります。

5) フォーメーションラップ終了後、再度スタートグリッドに着いた時点で、赤信号が点灯し、数秒後に消灯した時点からレーススタートとなります。

6) 規定周回数終了時のトップからチェックマークが振られレース終了となります。

●オープン 100 クラス(ローリングスタート)

1) スタートはローリングスタートになります。

2) 参加者はコース上スタートグリッドに手押しで車両を移動して下さい。

3) 全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、セル付きエンジン→押し掛けの順でエンジンを始動し、ローリング開始となります。

4) ローリングに遅れた場合、隊列復帰ライン(ADVANの看板)までであれば、自分のポジションに戻れるものとします。ただし、トラブルなどで隊列から大きく遅れた場合は、隊列の最後尾に着かなければなりません。

5) ローリング中に停止した場合は、全車が通過するまでは再スタートしてはいけません。再スタート後、隊列の最後尾に着き、自分のグリッドには戻れません。

6) スタートラインから 25m 手前に引いてあるイエローラインを自分のカートが通過するまでは、加速を禁止します。また、スタートラインまでは追い越し禁止です。

7) ローリング開始後、赤信号が点灯され、隊列が整い次第、赤信号を消灯し、スタートとなります。ローリングを更に 1 周行う場合は、ミスマッチ旗(緑に黄色の山形)が振られ赤信号は点灯されたままになります。

尚、日章旗によるスタート合図を行う場合は、日章旗が振られた瞬間からスタートとなります。

8) 規定周回数終了時のトップからチェックマークが振られレース終了となります。

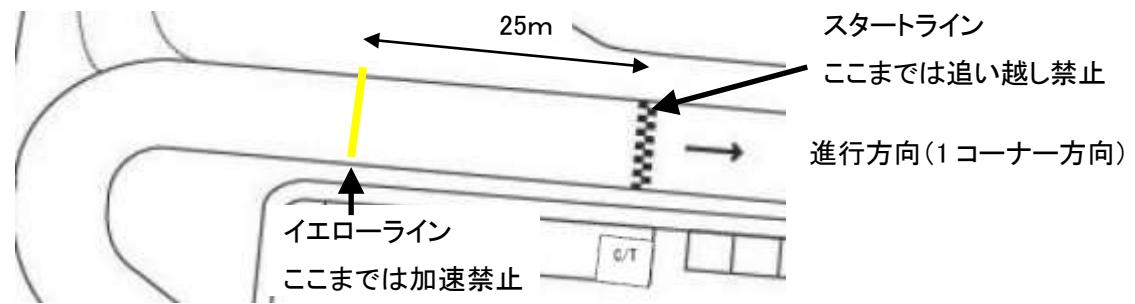
●4st スポーツカート、オープン 100 クラス混走の場合(ローリングスタート)

1) オープン 100 クラスが前方に、4st クラスが後方に隊列を整えてローリングスタートになります。

2) TT の結果から 4st スポーツカートクラスとオープン 100 クラスに分けて順位を決め、オープン 100 クラスを先頭に、間隔を 1 列以上空けて 4st スポーツカートクラスの順でグリッドに着きます。

3) スタートはオープン 100 クラスを先頭にスタートしますが、実際のスタート(計測開始)は後方の 4st スポーツカートクラスよりスタートしますので、オープン 100 クラスは 1 周のハンディ(実質 16 周回で計測は 15 周)となります。

4) これ以外は、上記のオープン 100 クラス方式に準じます。



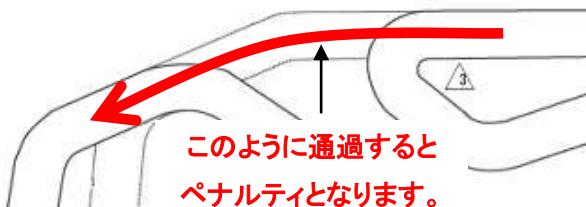
このホームストレートエンドにある信号で
スタート合図を行います

○旗信号機

旗の種類	旗の意味	旗の種類	旗の意味
国旗 	・タイムトライアルスタート合図 ・レーススタート合図 (通常は、1コーナーアウト側の信号を使用します。)	緑旗 	ローリングスタート、又は、フォーメーションラップスタート合図
黄旗 	危険予告 コース上(ランオフエリアを含む)に危険がある。 減速、停止準備、 該当する危険ポイントまで 追い越し・追い抜き禁止	オレンジボール旗 	この旗を指差しで提示されたドライバーは、自分もしくは他のドライバーに危険を及ぼすような問題に見舞われており、早急にコース上から退去し安全な場所に停止すること。 基本的にはピットインする。
青旗 	後方より速いカートが近づいている場合に提示 (静止)後方より速いカートが近づいて来ているので、現在の進行方向を維持 (振動)後方より速いカートが近づき、追い越そうとしているので、進路をゆずる。	白地に赤×印の表示旗 	ローリングスタートでローリング中に隊列から大きく遅れてしまい、この表示板が出された場合、隊列の最後尾につかなければならぬ
		対角線で黑白に分けた旗 	非スポーツマン的行為に対して、最後の警告 非スポーツマン的行為とは、他のカートに対し故意のブッシング、ブロックинг、接触、蛇行運転などを言う
赤旗 	レース中断 全てのドライバーは最大限の慎重さと注意をもって徐行し、オフィシャルの指定した場所に車両を止めること。	黒旗 	指示されたカートへのピットイン命令 当該ドライバーは、ピットイン後、速やかに協議長まで出頭
緑に黄色の山形 	ミススタート 再度スタートを行う場合に使用する。 加速タイミング早過ぎ、スタートライン手前追い越しなど	チェックカー旗 	レース終了

○レース中のルール

- 1) コースは、常に先入優先とし、追い抜きするものは、前方の車の走行を妨害してはならず、また前方の車は、後続の車の進路を妨害してはなりません。
- 2) コース員が、反則行為(プッシング、ブロッキング、その他の非スポーツマンシップ行為)とみなしたドライバーに対して白黒旗が提示されます。さらにその行為が、2回以上に及ぶ時は失格とします。
- 3) いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはなりません。(但し、クラッチ付エンジンは、コース復帰の為、安全確認後の停止している場所での方向転換(Uターン)は認めます。その際もコースを逆走してはなりません。)
- 4) レース中は、危険回避などの止むを得ない場合を除き、コースを外れてショートカットをすることは認められず、当該行為はペナルティの対象となります。
- 5) 衝突を避ける為に、止むを得ずコースアウトした場合は、そのもっとも近いところから、再びレースに復帰しなければなりません。但し、下図のように退避路の通過はショートカットとみなしひペナルティの対象になります。



- 6) レース中、コースエリア内で、停止してしまった場合は、両手を高く上げて後続車にアピールし、他のカートが過ぎ去ってから、後方の安全を確認し、再スタートします。尚、再スタートできない時は、レースの障害にならないよう、自分のカートをコース外の安全な場所に移動し、ヘルメットを被ったままレースの終了を待たなければなりません。
- 7) レース中、コースエリア内で停止した時、コース員により危険回避の為、移動をされる場合があります。その後、自力で再スタートできる場合のみ再スタートを認めます。自力で再スタートできない場合は、リタイア扱いとなり、コース員によって排除されます。
- 8) コース上における再スタートや修理は、ドライバー自信で行わなければなりません。(修理はコース外の安全な場所で行うこと)
- 9) ドライバーは、工具等を携帯することはできません。又、工具を取りにピットに戻ったり、ピットクルーがコース内に立ち入って作業したりすることは、禁止します。
- 10) ピットイン、ピットアウトは決められた場所で行わなければなりません。
- 11) 指定された作業エリア以外での作業を行ってはなりません。これに違反した場合はペナルティが科せられます。
- 12) 事故にみまわれたカートは、コース員によって、検査の為に停止を命じられる場合があります。

○レースの中止

- 1) 事故、安全性の問題またはその他、いかなる理由によっても、競技を中断する必要があるとみなされた場合、競技長の指示により赤旗が提示されます。その場合、全てのドライバーはただちにレースを中断し、コース員から指示された場合は、どの時点でも停止できる態勢で、ホームストレート上の指示された場所のコース左右両端まで徐行して停止してください。
- 2) レース中断の結果は下記の通りです。
 - I レースが 60% 終了している場合、レースは成立したとみなされ、赤旗提示前の周回時点の終了順序で結果が決定となります。
 - II 60% 未満の場合、レースは完全に再走行となり、第 1 回目のスタートは無効、取り消しとなります。

※決勝レースでは、中断する前の周にフィニッシュラインを超えたドライバーだけが、最スタートに参加できます。

- 3) 赤旗中断の場合、競技長の指示があるまでピットクルーはコースへの介入、及び車両の整備を行ってはなりません。
- 4) ピットエリアで作業中の車両に対しても上記 2) が適用され、グリッド上に戻れない車両については、ピットスタートとなります。
- 4) コース上、ピット作業エリアでの燃料の補給は禁止されます。但し、競技長が認めた場合のみ、ピット作業エリアでの燃料補給を認めます。

○レース終了

- 1) レースの着順 1 位のドライバーがフィニッシュラインを通過後、2 分以内に自力で同ラインを通過したドライバーに対して、チェック旗が振られます。フィニッシュラインを通過する際には、ドライバーはカートに乗車した状態でなければなりません。(手押しで通過することは禁止です)
- 2) ドライバーはフィニッシュライン通過後、徐々にスピードを落とし、正規のコースを走行してピットインしなければなりません。この時、追い越しは禁止となります。
- 3) 先頭のカートが、規定の周回数を終了する以前に、誤ってチェック旗が表示された場合は、その時点をもって競技終了となります。また、遅れてチェック旗が表示された場合は、チェック旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したものとして、順位が決定されます。

○完走

チェック旗とは関係なく、規定周回数の 1/2 周回(50%以上)を完了していれば完走扱いとなります。

○順位の決定

- 1) レースの順位は、次の順序により周回数の多い順に決定されます。
 - ① 完走者(チェックを受けたドライバー)
 - ② 完走者(チェックを受けていないドライバー)
 - ③ 周回数に基づく未完走者
 - ④ 失格者

○順位の決定・賞典

- 1) 各クラスともに決勝ヒートの順位により決定します。
- 2) 賞典は台数に関係なく(3 台以上で成立したクラスのみ)1 位のドライバーに副賞を贈呈いたします。

○ペナルティに関する事項

- 1) 競技に関する規則の違反者に対し、ペナルティが科されます。
- 2) ペナルティの種類はタイム調整、順位降格、失格などがあります。
- 3) 違反に対するペナルティは全て競技長の判断により決定されます。

○ピット、パドックエリア

ピット内、及び、パドックエリアは火気、及び、発火物(タバコも含む)の使用は厳禁です。タバコを吸う場合は指定された喫煙所でのみ可能とします。

○その他一般事項

●障害の保障

- 1) 参加者は、参加車両、及び、その付属品、ならびにコースの施設、機材、器具に対し、損害の補償責任お負うものとする。
- 2) 主催者、及び、大会役員の業務遂行に起きた、ドライバー、ピット要員の死亡、負傷、及び、車両の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するもの、及び、大会役員は、一切の保障責任を負わないものとします。

●延期、中止

- 1) 主催者は、競技の一部あるいは、全部を延期、又は、中止することができる。

技術規定

○各クラス共通規定

●カート全般

- 1)サイドボックス(サイドカウル)フロントパネル、及び、フロントフェアリング、リアバンパーを必須とします。
- 2)バンパーは必ず前後に装着するものとします。(リアバンパーは大型が望ましい)
- 3)サイドバンパーの役割は、サイドボックス(サイドカウル)により補われるものとします。
- 4)コース上にオイルを流出飛散させる構造のもの取り付けは禁止します。
- 5)チェーンガードは必須とします。(フルカバーが望ましい)
 - ①車両上方向からみてチェーンが見えない状態であること
 - ②車両側面よりみて、エンジン側スプロケットとアクスル側スプロケットを結ぶ線上の部分を有効に覆っていること
 - ③車両側面よりみて、エンジン側スプロケットが見えない状態であること

●ゼッケン

ゼッケンは付けても付けなくてもかまいません。

※リーダーボード上のカーナンバーはトランスポンダー(発信器)の番号で表示します。必ずしも、カートのゼッケンと同じとは限りません。

車両規則

クラス名称	エンジン規定	エンジン機種	シャシー	タイヤ	最低重量
4st スポーツカート クラス	2016 年度 K-TAI の規則に準ずる。	•ホンダ製 GX200 GX200SP GX270 •スバル製 EX21 EX27 KX21 •ヤマハ製 MZ200 その他のエンジンについては 問い合わせねがいます。参加 できる場合でもハンディを設 ける場合があります。	自由 但し、市販 車に限る。 ※ジュニア 用シャシー を使用する 場合はハン ディがあり ます。	BS:YDS(HF) YH:ED DL:DF-2	規定なし
オープン 100 クラス (2st空冷 100cc)	各エンジンともメー カー出荷状態とする 改造不可	ヤマハ製 KT100SD KT100SC KT100SEC PRD 製 RK100 IAME コメット、パンサー など その他のエンジンについては 問い合わせねがいます。 ※使用エンジンによりハンデ イがあります。	自由 但し、市販 車に限る。 ※ジュニア 用シャシー を使用する 場合はハン ディがあり ます。	自由 ※使用するタ イヤによりハン ディあり。	規定なし

ハンディについて

○シャシーによるハンディ

●ジュニア用シャシー使用の場合

1)大人用シャシーに対し重量の差を無くす為に、状況に応じて0. 1~1秒程度のハンディをタイムトライアルのタイムに加算する場合があります。

○エンジンによるハンディ

●4stエンジンの場合

1)2016年のK-TAIエンジョイクラスに出場できないエンジンを使用したい場合は、問い合わせ願います。

参加可能な場合でも、状況に応じて0. 1~1秒程度のハンディを、タイムトライアルのタイムに加算する場合があります。

●2stエンジンの場合

1)KT100(SS仕様)エンジンを基準とし、それ以外のエンジンに関しては、状況に応じて0. 1~1秒程度のハンディをタイムトライアルのタイムに加算する場合があります。

例)

・PRD製 RK100 → 最大0. 5秒

・IAME製 コメットK55、パンサーなどのリードバルブエンジン → 最大1秒

※上記以外のエンジンについては協議の上、決定します。

●4stスポーツカートクラスとオープン100クラス混走の場合

1)オープン100クラスにプラス1周ハンディとします。

2)スタートはオープン100クラスが前方で、4stスポーツカートクラスが後方スタートで、4stスポーツカートクラスよりスタートします。(オープン100クラスは最初の1周をハンディとして計測しません)

○タイヤによるハンディ

●4stスポーツカートクラス

1)タイヤによるハンディは設けません。(規定のタイヤを装着願います。)

●オープン100クラス

1)SL17、SL07、SL9…ハンディなし

2)MOJO D2、SL6などのセミハイグリップタイヤ…0. 3秒

3)YMM、YMHなどのハイグリップタイヤ…0. 5秒

※使用タイヤにより、上記のハンディをタイムトライアルのタイムに加算します。

○連続優勝ハンディ

●同年度に2回連続して優勝した方は、次戦出場時に0. 1秒のハンディタイムをタイムトライアルのタイムに加算します。

●3回連続優勝の場合は次戦に0. 2秒、連続4回は0. 3秒…と3位以下になるまでハンディタイムをつけます。

●2位の場合は次戦のハンディは現状維持のままとします。

●ハンディタイムがクリア(ハンディなし)になるのは、3位以下になった場合のみとします。